10分・20分構想について

■10分・20分構想に関する主な取組について

R1～2年度：**熊本都市道路ネットワーク検討会（国・県・市・経済界・有識者）**において、R1.12に「新たに必要な道路ネットワークの機能イメージ」を共有

R3.6：**熊本県新広域道路交通計画**において、**「10分・20分構想」**を掲げ、新たな3つの高規格道路を位置づけ

R3.11～R4.3：**熊本都市圏連絡道路経済効果等検討会（県・市・経済界・有識者）**において「10分・20分構想」の実現が与える経済効果等を調査・検討

R4.8：早期実現を図ることを目的とした**熊本都市圏3連絡道路建設促進協議会（県知事・熊本都市圏市町村長・議会議長、経済界、各種協会）**を発足。R5.9には**構成市町村を県内全域に拡大。**

R5.11：**熊本都市圏3連絡道路有識者委員会（国・県・市・有識者・経済界）**を発足し**「住民参加型の道路計画検討」に着手。**

R7.3.25：**第2回熊本都市圏3連絡道路有識者委員会**を開催し、地域や道路の課題やその解決に向けた政策目標（案）の設定及び意見聴取方法を議論

R7.5.20～R7.8.31：第1回意見聴取（地域住民が日頃感じている地域や道路の課題）

R8.3.31：**第3回熊本都市圏3連絡道路有識者委員会**を開催し、第1回意見聴取結果の報告、政策目標の妥当性、今後の進め方について議論

R8.6.7：**令和8年度熊本都市圏3連絡道路建設促進協議会総会**を開催。

▲令和8年度熊本都市圏3連絡道路建設促進協議会総会

STEP1 道路コンセプト
熊本都市道路ネットワーク検討会
必要なネットワーク機能のイメージを検討
○熊本市中心部と高速道路IC（北部、南部）のアクセス強化
○熊本市中心部と広域交通拠点（空港、港）のアクセス強化
○熊本市中心部の既存道路の広域的な交通分担機能の強化
アンケート　シンポジウム

STEP2 構想段階
熊本県新広域道路交通計画
10分・20分構想を掲げ
新たな高規格道路として位置づけ

アンケート
オープンハウス　企業ヒアリング

STEP3 計画段階
住民参加型の道路計画検討
地域との双方向コミュニケーション
を踏まえた最適な概略計画
（ルート帯や主な構造）の決定
現在は
この段階です
アンケート　出前講座
オープンハウス　企業ヒアリング

STEP4へ

STEP4 詳細な計画 → STEP5 事業着手 → STEP6 事業用地の取得 → STEP7 工事 → STEP8 道路の開通

■今後の進め方について

■地域の意見を踏まえた最適なルート帯案を決定し、概略計画案の検討を進めていく。

（R7.5～8）意見聴取
→ **第3回有識者委員会（R8.3）**
・意見聴取結果等を踏まえた政策目標案の妥当性の確認
・次回意見聴取区間の設定
→ ・複数のルート帯案等の検討
・次回意見聴取方法の検討
※有識者委員会において議論
→ 意見聴取
・複数のルート帯案に対する意見
→ ・地域の意見を踏まえた一つのルート帯案の検討
※有識者委員会において議論
→ 概略計画（一つのルート帯の概ねの位置や主な道路構造等）の決定

複数のルート帯案の設定の流れ

・地域や道路の課題を踏まえた政策目標（道路が果たすべき役割）。

	分　野	確保すべき性能	目　標
政策目標	【暮らし】	速達性　定時性　安全性	生活利便性の向上
	【産　業】	速達性　定時性	産業活動の支援
	【観　光】	速達性　定時性	観光活動の支援
	【医　療】	速達性　走行性	円滑な救急医療活動の支援
	【防　災】	災害時にも機能する　信頼性　の高い道路ネットワークの構築	

有識者委員会での意見
・第1回意見聴取では、道路に対する大きな課題認識など地域の思いを丁寧に聞くことができた。
・政策目標は妥当と考える。

・政策目標を達成できる複数のルート帯案（以下「ルート帯」）を検討。

■次回意見聴取に向けて

・路線を分けてルート帯を検討し、有識者委員会に提示。
・有識者の助言等を反映したルート帯について、次回意見聴取（道路に対して重視していることについて確認）を実施予定。

有識者委員会での意見
・3つの路線を同時に検討することは、規模が大きく、アンケートに答える側の負担も大きくなる。
・北連絡道路、空港連絡道路を先行して一体的に複数のルート帯案を検討することについては、道路のネットワークやわかりやすさの視点から妥当と考える。